

よこはま型  
若者自立塾

若者自立就労支援 X 石巻進化躍進応援

やっぺす通信発行元

K2 インターナショナルグループ  
・NPO 法人ヒューマンフェローシップ  
・うんめえもん市

www.K2-inter.com/ishinomaki  
Tel: 045-762-1435 ( 覚知・田上 )

忘れないこと・続けること・進化すること

# やっぺす通信 Vol.77

2018.4.1 発行

## 石巻復興支援から石巻進化躍進応援へ

### うんめえもん応援団突撃インタビュー！ 応援ファイル No.55

#### 有限会社 でんぱた代表 鈴木正美さん



震災をきっかけに出会ったでんぱたの鈴木さん。福島県の最南端にある矢祭町で美味しいお米を作り、また地域の活性化にも尽力されています。7年の間でジョブキャンプで毎年矢祭を訪れたり、横浜に来ていただいたり関係者少しづつ繋ぎできました。今年からはうんめえもん市だけでなくK2グループで扱うお米をすべてでんぱたのお米にしました。顔の見える・つながりのあるものを皆さんに食べていただきたいという想いです。

鈴木さんからでんぱたのお米のお話などをお聞きしたいと思い、インタビューをさせていただきました。

岩本) 以前にも鈴木さんには応援メッセージを寄せていただいた事があるのですが、改めて「でんぱた」さんについてご紹介いただけますか？

鈴木さん) 2001年4月に農業の新たな可能性を求め「**有限会社でんぱた**」を農業法人として立ち上げ17年が経ちました。個人農業形態に限界を感じたこと、国の食糧管理法が新食糧法に改定され、生産者に「売る」自由が認められたことが大きな理由でした。それまでは戦後の食料安定供給のため国が流通を管理していたのです。**自社生産の米は勿論のこと地元生産者の米や野菜をスーパーや生協に納入する窓口作りから始まり、加工による商品化やグリーンツーリズム（都市と農村の農業体験交流）なども取り組み、県内外への農産物販売に努めております。**

岩本) 震災から7年が経ちましたが、鈴木さんのところでは震災の影響はまだありますか？どのような点が困っていますか？

鈴木さん) K2の皆様には、震災後から社会復帰の一助とするため取り組んでいる矢祭町での農作業をきっかけに、矢祭米や野菜・加工品などの販売をいただき、震災で落ち込んだ産地状況に大きなエールを贈っていただきました。

**しかしながら販売環境は7年たった今でも依然として福島産農産物への風評被害が続いている現状です。ホームページや都市部への出張販売等を重ね、払拭とPRを続けております。**

岩本) 最近うんめえもん市のごはんがすべて「でんぱた」さんのお米に変わり、とてもおいしくなったと評判なのですが、お米のこだわりについて教えてください。

鈴木さん) 2018年からは、「うんめえもん市」を始め、K2インターナショナルジャパンの全施設で矢祭米が業務用としても採用され、お世話になることができました。業務用といっても通常販売のお米と何の変

わりありません。「あれ、お米変わったかな?」とお気づきの方もいらっしゃるかもしれません。関係者の方からは「冷蔵庫で保管した後も変わらずに美味しいですよ」とお褒めの言葉があり、**食味向上のため精米仕上りにも力点をかけていることが評価されたと喜んで**います。少しだけ精米について説明させていただきます。

#### 精米のこだわり

- ①摩擦熱で米が高温にならないこと。
- ②白米の表面がキレイに摺られていること。
- ③割れた米や砕けた米が極力残らないこと。
- ④異物の混入が無いこと。
- ⑤安全性が確保できること。



①②は、米の酸化に影響します。③は、炊きあがったご飯のべたつきの原因となります。④⑤は、色彩選別機や金属探知機で処理します。

岩本) 横浜の皆さんにお伝えしたい事などメッセージをお願いします。

鈴木さん) 夏には、K2の学童の子ども達が「虫キャンプ」で矢祭に来てくれました。クリスマスフェスタで横浜に伺った時には、子ども達の「英語劇」の動作がたまたまかわいかったです。スタッフの皆さまは大変でしょうけど、あの子ども達の笑顔で癒されていることと思います。「でんぱた」は、これからも皆さまと末永いお付き合いが出来ることを心から願っております。お買いただいている皆様に支持される農産物の生産販売にこれからも努力を続けて参ります。

横浜クリスマス  
フェスタでの販売



でんぱた米を使った  
うんめえもんのお弁当



うんめえもん市でもお米や野菜セットの産地直送便を販売しています。

有限会社 でんぱた

〒963-5118 福島県白川郡矢祭町 東館字蔵屋敷 12-1

<http://denpata.com/>

# 2018年 東日本大震災7周年 イベント報告

あの東日本大震災から7年を迎えました。この3月11日は『うんめえもん市』が始まるきっかけとなった震災の日。被災した元スタッフのゆりちゃんの応援の為に石巻に向かい、それがきっかけで玉井海産物店の玉井さんと出会いました。毎年3.11には、玉井さんご夫婦が横浜に来て、震災当時や現在の石巻の様子を私達に伝えてくれ、うんめえもん市メンバーと一緒に販売をしてくれています。年に一度のこの日は大震災のことを思い出し、「忘れないこと・続けること・進化すること」うんめえもん市の活動を改めて考える日となっています。



モンマルシェ開催

**3月10日(土) 根岸駅前モンビルでモンマルシェを開催。**サバだしラーメン、石巻焼きそば、女川おかせいの干物、その他石巻の物産を玉井さんご夫婦と一緒に塾生メンバーやK2家族の会の親御さんと一緒に販売しました。あまりこちらでは見かけない魚もあり、玉井さんが調理法をお客様に伝えてくれました。

石巻発、金華鯖のフライの入った『サバだしラーメン』はとても人気で整理券に行列ができるほどでした。たくさんの方々にお越し頂き、ラーメンも焼きそばも干物もすぐに完売となりました。

**3月11日(日) 横浜市会議員(南区)のゆき大輔議員のお餅つきのお祭りに参加。**来場された方からは、「石巻の応援しています!」「頑張ってください!」とみなさんからたくさんの応援のお言葉を頂きました。玉井さんご夫婦も売り場に来られた方に色々石巻の様子を話させていただきました。

**3月12日(月) 市役所開催日。**お昼にはたくさんの職員さんが来て下さり、一番人気の二段重ねのうんめえ弁当が早々に完売。その他のお弁当も完売となりました。物産では金華鯖、鯨の大和煮の缶詰が人気でした。最後に玉井さんご夫婦とうんめえもんメンバーで記念撮影しました。

東日本大震災より7年、うんめえもん市はこれからも「忘れないこと・続けること・進化すること」をキーワードに進化躍進して参りたいと思っております。引き続き応援をよろしくお願い致します。

## うんめえもん市交流会

3月15日(木)には、お好み焼ころんぶす石川町店にて、うんめえもん応援団の皆様がたくさん参加くださり、交流会を行いました!石巻のうんめえもんを食べて飲んで、みなさんで大いに盛り上がりました!!



玉井さんご夫婦と うんめえもんメンバーで

うんめえもん市 販売責任者 安田光子

# JOB CAMP in 石巻 活動報告

3月1日(木)から3月8日(木)まで、石巻でジョブキャンプが行われました。ジョブキャンプ石巻のプログラムの中には避難所体験といって、7年前に実際の避難所になった祝田2区集会所で当時の状況を再現して(電気・水道・ガスが使えないことなど)生活をするプログラムがあります。

ジョブキャンプ参加メンバーが避難所リーダーとして避難所を運営する役割を担ってもらうのですが、実際の状況を想像して、迅速な判断をすることはとても難しく、思考が止まってしまう場面も

ありました。また、それぞれが自分の意見を通そうとして収拾がつかなくなる場面もありました。しかし、そこで一旦立ち止まり振り返りをし、自分本位になっていたことに気づき、避難所リーダーの人たちは、しんどいけれど自分以外の人たちのために一生懸命頑張っていたことなどを想像し、そこからは相手のことを思いやりながらこの状況を乗り越えようとみんなで協力をしていました。「避難所体験で、慌ててしまっ何をしたいのかわからなくなることが多々あった」という感想がありましたが、こういう経験を積んでいくことで、判断するときのベースが出来上がっていくのではないかと思います。ジョブキャンプに参加した若者たちだけでなく、石巻に住んでいる僕たちも「忘れないこと・続けること・進化すること」を忘れずに、今後も真剣に避難所体験に取り組んで、いざという時のために備えていきたいと思っています。



梨木畑ファームで活動中!!

K2石巻スタッフ 青山卓司

## 4月うんめえもん市 開催スケジュール

～K2石巻だより～

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9 瀬谷区(物)	10 磯子区	11	12 西区	13	14 モンマルシェ
15	16 旭区(物)	17 鶴見区	18	19 南区	20	21
22 山手 やってみよう祭	23 市役所	24	25	26 都筑区	27 栄区(物)	28
29	30	31				

各市役所・区役所のうんめえもん市開催スケジュールです。

※磯子区・南区・都筑区は～16:00まで。旭区・鶴見区は～15:00まで。

※予定は変更される事があります。詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。



3月18日、さくらの会の皆さんと県道沿いに桜の樹を植樹しました。地域の方々や苗を寄付していただいた方、K2メンバーと揃っての集合写真を撮りました。